

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—93912

⑮ Int. Cl.³
A 61 K 9/50

識別記号

庁内整理番号
7057—4C

⑬ 公開 昭和57年(1982)6月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 10 頁)

⑭ マイクロカプセルの製造方法

米国アラバマ州35071 ガーデン
デール・ジャクソン・サークル
312

⑯ 特 願 昭56—158593

⑰ 出 願 昭56(1981)10月5日

優先権主張 ⑱ 1980年10月6日 ⑲ 米国(US)
⑳ 194127

㉑ 発 明 者 トーマス・アール・タイス
米国アラバマ州35080ヘレナ・
カーラ・ストリート2320

㉒ 発 明 者 ダニエル・エツチ・ルイス

㉓ 出 願 人 ストール・リサーチ・アンド・
デヴェロップメント・コーポレ
ーション

米国オハイオ州45242シンシナ
ティ・コーネル・ロード6990

㉔ 代 理 人 弁理士 野村滋衛

明 細 書

1. 発明の名称

マイクロカプセルの製造方法

2. 特許請求の範囲

- (1) 1種の活性剤を溶剤中に溶解または分散
させるとともに、1種の壁形成物質を前記
溶剤中に溶解せしめる第一工程と、前記活
性剤および前記壁形成物質を含有する前記
溶剤を連続相生成媒体中に分散せしめる第
二工程と、第二工程の分散液から前記溶剤
の一部を蒸発させることによつて前記活性
剤含有の懸濁液状マイクロカプセルを生成
せしめる第三工程と、前記マイクロカプセ
ルから前記溶剤の残余を抽出せしめる第四
工程とから成る活性剤含有マイクロカプセ
ルの製造方法。

- (2) 前記第四工程において溶剤を完全に除去

させる以前に、第三工程で生成した懸濁状
マイクロカプセルを連続相生成媒体から分
離せしめる特許請求の範囲第1項記載の製
造方法。

- (3) 前記連続相生成媒体が水、キシレン、ト
ルエン、合成油および天然油から成る群か
ら選ばれた1種の媒体である特許請求の範
囲第1項記載の製造方法。
- (4) 前記連続相生成媒体がさらに界面活性剤
を含む特許請求の範囲第3項記載の製造方
法。
- (5) 前記連続相生成媒体が1ないし10%の
ポリビニルアルコールを含有する水である
特許請求の範囲第4項記載の製造方法。
- (6) 前記第二工程の流体生成物が安定なW/O
型エマルジョンまたはO/W型エマルジョ
ンである特許請求の範囲第1項記載の製造